

3. 人文科学研究所公開講演会一覧

回	日時	演題	講師
第1	1977年 11月12日(土) 至誠館4番教室	・「欧州経済共同体商事法の特徴」 ・「京都商人の歴史的背景」	岡本 善八(法学部教授) 安岡 重明(商学部教授)
	11月19日(土) 至誠館4番教室	・「社会事業の原点としての留岡幸助」 ・「労働福祉の重点課題 一中高年労働と高齢福祉への道一」 ・「大西 祝の美学」	住谷 馨(文学部教授) 中條 毅(文学部教授) 金田 民夫(文学部教授)
第2	1978年 5月12日(金) 神学館3階礼拝堂	《近代京都の政治と民衆》 ・「町衆自治」の伝統とは何か ・「明治期京都の政治俯瞰図」	田中 真人(人文研専任講師) 高久 嶺之介(人文研専任講師)
第3	1978年 10月24日(火) 京都商工会議所講堂	《京都の伝統産業》 ・京都の「老舗」の現状	松本 通晴(文学部教授)
	10月25日(水) 京都商工会議所講堂	・「京都和装産業の位置と課題」	前川 恭一(商学部教授)
第4	1979年 5月12日(土) 野村證券銀座支店	・「徳富蘇峰と同志社」	杉井 六郎(人文研教授)
第5	1979年 10月20日(土) 京都社会福祉会館4階	・「丹波山国農兵隊 一その思想と行動」	仲村 研(人文研教授)
第6	1980年 5月17日(土) 穂高町中央公民館	《安曇野近代化の一光源 一井口喜源治と 研成義塾一》 ・「和装の基督者」 ・「研成義塾のひとびと」	竹中 正夫(神学部教授) 宮澤 正典(女子大学助教授)
第7	1980年 11月8日(土) 京都社会福祉会館4階	《日本の家》 ・「明治の宮家皇族」 ・「京都商人の“家”の二類型 一木村卯兵衛家と細田善兵衛家一」	高久 嶺之介(人文研専任講師) 仲村 研(人文研教授)
第8	1981年 5月23日(土) 岡山県総合福祉会館	《岡山県の生んだ社会福祉事業の先駆者 留岡幸助》 ・「社会事業の鬼才」 ・「留岡幸助に学ぶもの」 ・「うすれゆく明治のエートス」	守屋 茂(元龍谷大学教授) 住谷 馨(文学部教授) 杉井 六郎(人文研教授)
第9	1981年 10月31日(土) 京都社会福祉会館4階	・「町衆は“マチシュウ”か」	仲村 研(人文研教授)
第10	1982年 5月22日(土) 大阪証券会館	《日本の近代化と同志社》 ・「新島襄における近代科学と宗教」 ・「同志社と大阪」	島尾 永康(工学部教授) 杉井 六郎(人文研教授)
第11	1982年 11月13日(土) ヤマハホール(東京銀	・「縁起絵巻の世界 一日本人の信仰に関連して」 ・「財閥の家憲と華族の家憲 一とくに財産管理について一」	笠井 昌昭(文学部教授) 安岡 重明(商学部教授)
第12	1983年 5月25日(水) 神学館3階礼拝堂	・「憧憬と失望と 一欧米体験再考一」 ・「村人(もろと)と町衆(ちょうしゅう)」	田中 真人(人文研助教授) 仲村 研(人文研教授)
第13	1983年 11月12日(土) 京都社会福祉会館	《京都の地場産業問題を考える》 ・「地場産業の類型と特質」 ・「地場産業の生きる道」	笹田 友三郎(経済学部教授) 前川 恭一(商学部教授)
第14	1984年 5月16日(水) 神学館3階礼拝堂	・「日本ファシズムと農民」 ・「大正期の皇室と朝鮮問題」	庄司 俊作(人文研専任講師) 高久 嶺之介(人文研助教授)
第15	1984年 10月27日(土) 京都会館会議場	・「写真でみる京都の百年」	田中 真人(人文研助教授)
第16	1985年 6月29日(土) 滋賀会館中ホール	《近江の歴史文化講座》 ・「滋賀県の近代化と鉄道」 ・「三井寺普賢堂襖下張り文書」	藤田 貞一郎(商学部教授) 仲村 研(人文研教授)
第17	1985年 10月29日(火) 至誠館4番教室	《南山城の歴史と文化》 ・「考古学からみた南山城」 ・「南山城と同志社」	鈴木 重治(学術調査主任) 杉井 六郎(人文研教授)
第18	1986年 6月14日(土) 田辺校地 多目的ホール	《田辺町史の諸問題》 ・「近代の田辺 一田辺町事務報告書を素材にして一」 ・「タキギとスミの争い 一田辺中世史の一齣」	露口 卓也(文学部助教授) 仲村 研(人文研教授)
第19	1986年 9月27日(土) 八日市市中央公民館	・「明治・大正期の八日市」 ・「保内今堀郷研究余話」	高久 嶺之介(人文研助教授) 仲村 研(人文研教授)
第20	1987年 6月13日(土) 山城町福祉センター	《山城町史を学ぶ特別講座》 ・「日本の近代教育と山城町」 ・「近代のまちとむら 一『山城町史』編集にかかわって一」	沖田 行司(文学部助教授) 田中 真人(人文研教授)
第21	1987年 11月7日(土) 神戸市勤労会館ホー	《神戸とキリスト教》 ・「明治初期神戸伝道とD.C. グリーン」 ・「アッキンソンと『七一雑報』『旭光』」	茂 義樹(梅花短期大学教授) 竹中 正夫(神学部教授)
第22	1988年 6月17日(金) 神学館3階礼拝堂	・「天皇の代替わりとキリスト教 一1920年代後半のケースより一」 ・「天皇の代替わりと地域社会 一京都府における『奉祝記念事業』の実相一」	土肥 昭夫(神学部教授) 田中 真人(人文研教授)
第23	1989年 1月20日(金) 至誠館3階会議室	《杉井六郎人文科学研究所教授退職記念》 ・「道遥かなり」	杉井 六郎(人文研教授)
第24	1989年 6月30日(金) 神学館3階礼拝堂	《キリスト教社会問題研究》 ・「ハワイ日本人とともに 一ある同志社人の軌跡」 ・「西海岸の『ピルグリム・ファーザーズ』 一シアトル穂高倶楽部の人びと一」	飯田 耕二郎(女子中高教諭) 宮澤 正典(女子大学教授)
第25	1989年 10月27日(金) 至誠館3階会議室	《市場の成長と商品の変遷》 ・「京都(洛中)と伏見の酒の闘い 一市場の変容と技術革新一」 ・「古き都に新しき産業 一日本映画の青春時代一」	石川 健次郎(商学部教授) 庄林 二三雄(大阪国際大学教授)
第26	1990年 6月13日(水) 神学館3階礼拝堂	《新島襄永眠100周年記念》 ・「新島襄と山本覚馬 一京都の近代化・同志社一」	河野 仁昭(社史資料室長)

回	日時	演題	講師
第27	1991年 3月13日(水) 神学館3階礼拝堂	《『山室軍平の研究』刊行記念》 ・「山室軍平の研究」班の研究活動の経緯 ・「山室軍平の青年時代—救世軍への助走—」 ・「救世軍と皇室」	室田 保夫(高野山大学助教授) 本井 康博(研究協力者) 田中 真人(人文研教授)
第28	1991年 6月21日(金) 至誠館3階会議室	「地球環境問題と私たちの暮らし—足元 で行動しよう—」	群嶋 孝(経済学部教授)
第29	1991年 11月14日(木) 神学館3階礼拝堂	《日系カナダ人社会とキリスト教会》 ・「アジア系移民の社会変化—トロントの香港人—」 ・「カナダ日系社会における日本人キリスト教会の役割」	森川 眞規雄(文学部教授) 佐々木 敏二(文学部嘱託講師)
第30	1992年 6月19日(金) 頌真館2階視聴覚教室	《コロンブスとその時代》 ・「コロンブスと大西洋奴隷貿易」 ・「大航海時代のスペイン」	布留川 正博(経済学部専任講師) 立石 博高(東京外大助教授)
第31	1992年 11月14日(土) 大会館ホール	公開シンポジウム《過去の克服と二つの戦後—日本とドイツ—》 ・「過去の克服とドイツ知識人」 ・「日本の戦後補償と歴史認識」 ・「『戦後社会』ドイツにおける戦後責任」 ・「東京裁判と戦争責任・戦後責任」 ・二つの現代史—歴史の新たな転換点に立って考える—	三島 憲一(大阪大学教授) 田中 宏(愛知県立大学教授) 広渡 清吾(東京大学教授) 栗屋 憲太郎(立教大学教授) 山口 定(大阪市立大学教授) コーディネーター 望田 幸男(文学部教授)
第32	1993年 10月5日(火) 10月12日(火) 10月19日(火) 10月27日(火) 明德館1番教室	《外国人労働者と地域社会》 ・「外国人労働者問題」 ・「外国人労働者受入れと日本社会」 ・「他民族社会」への対応 ・「外国人労働者をめぐる法的諸問題」	馬場 浩也(経済学部教授) 宮島 喬(お茶の水女子大学教授) 森川 眞規雄(文学部教授) 小嶋 典明(大阪大学助教授)
第33	1994年 6月18日(土) 明德館1番教室	《近代京都の転換点を考える》 ・「王政復古と京都の明治維新」 ・「3発目の原爆と京都」	佐々木 克(京都大学教授) 吉田 守男(樟蔭女子短期大学教授)
第34	1994年 10月29日(土) 創立50周年記念シン 同志社礼拝堂(チャ ペル)	《自由の風土・在野の精神—近代日本における同志社と早稲田》 ・「同志社の歴史から日本の近代をみる—同志社人文科学研究所の活動の特質—」 ・「早稲田大学社会科学研究所の歴史と展望」 ・「キリスト教と『自由の精神』—大西祝を中心に—」 ・「『東西文明調和論』をめぐる大隈重信と浮田和民」 ・「新島研究の新局面」 ・「大隈重信研究の過去・現代・未来」	竹中 正夫(神学部教授) 中村 尚美(早稲田大学教授) 笠原 芳光(京都精華大学教授) 間宮 國夫(早稲田大学教授) 本井 康博(文学部嘱託講師) 佐藤 能丸(早稲田大学講師) コーディネーター 田中 真人(人文研教授)
第35	1995年 6月12日(月) 田辺校地 多目的ホール	《外国人教師の目に映った百年前の同志社》 ・「同志社女学校婦人宣教師の場合」 ・「アメリカン・ボード宣教師ラーネッドの場合」	坂本 清音(女子大学教授) 本井 康博(文学部嘱託講師)
第36	1995年 10月6日(金) 明德館2番教室	《日本企業とアジア》 ・「私の社歴と松下電器の海外事業展開」 ・「日本企業の対中進出の新局面」	井上 俊治(松下電器元社長) 関 満博(専修大学商学部助教授)
第37	1996年 7月22日(月) 新島会館	《異文化交流と近代化》 ・「蒸気船ショックの構造」 ・「新島襄の異文化体験」	園田 英弘(国際日本文化研究センター教授) 沖田 行司(文学部教授)
第38	1996年 11月9日(土) 至誠館22番教室	《アジアの経済成長と日本経済のあり方》 ・第一部 「東アジアの経済発展と日本の役割」 ・第二部 パネルディスカッション	基調講演 森口 親司(大阪大学経済研究所長) パネリスト 石垣 健一(神戸大学経済経営研究所長) 吉田 和男(京都大学大学院教授) 高阪 章(大阪大学大学院教授) 松島 茂(通産省中小企業庁計画課長) コーディネーター 篠原 総一(経済学部教授)
第39	1997年 11月1日(土) 神学館3階礼拝堂	《企業と女性—雇用平等のフロンティア》 ・「拡がる女性たちのネットワーク」 ・「法廷からの提言」	越堂 静子(「商社に働く女性の会」世話人) 宮地 光子(弁護士)
第40	1997年 12月12日(金) 神学館3階礼拝堂	・「日本外交『不在』の起原を求めて—安保条約を再検討する—」	豊下 楠彦(立命館大学法学部教授)
第41	1998年 11月7日(土) 明德館1番教室	・「京都産業の革新—21世紀に生きる道—」	小堀 脩(京都商工会議所専務理事)
第42	1998年 12月19日(土) 至誠館2番教室	・「日本人から日系人へ—21世紀の実験 場ハワイ—」	沖田 行司(文学部教授)
第43	1999年 11月5日(金) 宮崎県高鍋町美術館 多目的ホール	《『石井十次の研究』刊行記念講演会》 ・「福祉の創始者・石井十次—その事業と夢」 ・「石井十次—事業家として・キリスト者として」	室田 保夫(関西学院大学社会学部教授) 田中 真人(人文研教授)
第44	1999年 12月7日(火) 至誠館4番教室	・「香港というありかた—「植民地」から「国家を超えた社会」へ—」	森川 眞規雄(文学部教授)
第45	2000年 5月15日(月) 5月22日(月) 5月29日(月) 6月5日(月) 至誠館3番教室	《花洛の江戸時代》 ・洛中洛外図の中の京都 ・京野菜の立売市場 ・幕末の京都—会津藩と一橋慶喜の登場— ・京の庶民にとって「御一新」とは何だったのか	水本 邦彦(京都府立大学文学部教授) 宇佐美 英機(滋賀大学経済学部教授) 家近 良樹(大阪経済大学教養部助教授) 井ヶ田 良治(法学部名誉教授)
第46	2000年 10月16日(月) 10月23日(月) 10月30日(月) 11月6日(月) 至誠館3番教室	《「伝統の都」の近代》 ・首都としての京都—公家社会の解体— ・京都イメージはどのようにつくられたか—平安文化論の成立— ・古都の開発—京都府知事北垣国道と琵琶湖疏水— ・京都・鉄道・天皇制—三題断	小林 丈広(京都市歴史資料館研究員) 高木 博志(京都大学人文科学研究所助教授) 高久 嶺之介(人文研教授) 田中 真人(人文研教授)
第47	2001年 5月18日(金) 明德館1番教室	《日本最初の社会主義政党—社会民主党100年—》 ・初期社会主義の源流としての同志社 ・社会民主党の歴史的意義	田中 真人(人文研教授) 松尾 尊兌(京都橘女子大学教授)

回	日時	演題	講師
第48	2001年 11月20日(火) 田辺校地知真館1号館 2階(TC1-222)	《ラテンアメリカの女性はいま—現代メキシコ女性の現状と主張—》 ・女性社会を変えたか?—メキシコ女性の教育状況と政治参加— ・先住民運動と「女性に関する革命法」	松久 玲子(言語文化教育研究センター助教授) 北條 ゆかり(滋賀大学経済学部助教授)
第49	2002年 6月14日(金) 至誠館4番教室	《『新島襄全集を読む』刊行記念講演会》 ・新島襄を精読できる時代 ・新島襄と病気	伊藤 彌彦(法学部教授) 宮澤 正典(同志社女子大学特任教授)
第50	2002年 11月18日(月) 至誠館4番教室	《尹東柱詩碑建立7周年記念講演会》 ・朝鮮人留学生たちの京都	水野 直樹(京都大学人文科学研究所教授)
第51	2003年 7月9日(水) 明德館1番教室	《日本産業の10年—1991~2000年》 ・空白の10年—日本自動車産業に身を置く—企業人から見て ・「松下グループにおけるモノづくり革新の取組み」について	尾崎 清(マツダ(株)常務執行役員 財務・国内販売会社財務担当 財務本部長) 武本 義郎(松下電器産業(株)生産革新本部 モノづくり革
第52	2004年 2月20日(金) 2月27日(金) 3月5日(金) 神学館3階礼拝堂	《明治の〈知〉と〈道義〉》 ・近代京都の〈知〉のネットワーク —初めての京都の歴史書『平安通志』が書かれた頃— ・明治の地方富豪と道義 ・勝海舟の日清戦争反対論	小林 丈広(京都市歴史資料館主任歴史調査員) 庄司 俊作(人文研教授) 松浦 玲(著述業・元桃山学院大学教授)
第53	2004年 6月28日(月) 7月5日(月) 7月16日(金) 同志社礼拝堂(チャペル)	《幕末から明治へ—時代を読み解く》 ・新撰組と武州多摩の人びと —故郷に送られた近藤勇書簡を読む— ・第三代京都府知事北垣国道はどんな知事であったのか —北垣の日記から読み解く— ・幕末史のなかの薩長同盟	鶴巻 孝雄(東京成徳大学人文学部教授) 高久 嶺之介(人文研教授) 高橋 秀直(京都大学大学院文学研究科助教授)
第54	2004年 12月1日(水) 12月6日(月) 12月13日(月) 至誠館	《京都の地域政治と鉄道》 ・舞鶴への鉄道建設と京・阪・神 ・北海道鉄道(函樽鉄道)の設立と京都人脈 ・「チンチン電車」の栄光と苦闘 —京都市への買収に至るまで—	松下 孝昭(神戸女子大学助教授) 渡邊 恵一(鹿児島大学助教授) 田中 真人(人文研教授)
第55	2005年 7月9日(水) 至誠館4番教室	《ランドマーク商品の破壊力—商品史からのメッセージ—》 ・ランドマーク商品のちから ・テーマパーク ・ワープロ ・冷凍食品 ・インスタントラーメン ・ケータイ	石川 健次郎(商学部教授) 鍛冶 博之(商学研究科博士課程前期) 小西 浩太(商学研究科博士課程後期) 川満 直樹(阪南大学経済学部助教授) 木山 実(関西学院大学商学部助教授) 瀬岡 誠(大阪学院大学国際学部教授)
第56	2005年 11月26日(土) 寒梅館203番教室	《京都商法をきく—新しいビジネスモデルを求めて—》 [基調報告] ・京都ブランドの現状と将来 [現場からの報告] ・がんばり過ぎない商い ・香りを通して歴史を学ぶ [パネルディスカッション]	林 廣茂(ビジネス研究科教授) 一澤 信三郎(一澤帆布代表取締役社長) 畑 正高(香老舗松栄堂代表取締役) パネリスト 林 廣茂 畑 正高 一澤 信三郎 D・ヒュー・ウイッター(ビジネス研究科教授)
第57	2006年 7月1日(土) 至誠館4番教室	《近代京都の創造》 ・明治期丹波・丹後への道—京都と宮津を結ぶ道はどのようにしてつくられていく ・近代京都と豊臣秀吉	高久 嶺之介(人文研教授) 高木 博志(京都大学人文科学研究所助教授)
第58	2007年 2月17日(土) 神学館3階礼拝堂	《中国における産業集積のダイナミズム》 ・中国経済：製造業の競争力 ・中国企業の経営戦略と産業集積—寧波における金型産業の集積を中心に—	篠原 総一(経済学部教授) 松島 茂(法政大学経営学部教授)
第59	2007年 5月26日(土) 至誠館地下1番教室	《京都発 人形のすゝめ—四谷シモンとベルナルド・フォコン》 ・“神”になろうとした人形師—華麗なるシモン創世記— ・ベルナルド・フォコンに愛されたマネキンたち	岡林 洋(文学部教授) 藤井 秀雪(京都造形芸術大学教授)
第60	2007年 10月20日(土) 至誠館3番教室	《公的ガバナンスの動態に関する研究》 ・ガバナンス論の現在 ・コミュニティ・ガバナンスの展望	堀 雅晴(立命館大学法学部教授) 山本 啓(東北大学大学院情報科学研究科教授)
第61	2007年 12月1日(土) 神学館3階礼拝堂	《同志社大学とアーモスト大学との交流史》 ・アーモスト大学と同志社大学の関係史序説 ・コール学長とケリー館長との往復書簡を通して見た両大学の関係	北垣 宗治(名誉教授) 藤倉 皓一郎(司法研究科特別客員教授)
第62	2008年 7月19日(土) 至誠館2番教室	《狎れた劇薬、ランドマーク商品》 ・黒船で、劇薬で・・・ ・複写機 ・エレベーター ・自動販売機 ・ファミコン ・紙おむつ ・ランドマーク商品の壁 ・コメント—若者にとってのランドマーク商品— ・総括—企業者史学とランドマーク商品—	石川 健次郎(商学部教授) 上村 雅洋(和歌山大学経済学部教授) 吉田 裕之(京都産業大学経営学部教授) 水原 紹(大阪学院大学経営学部准教授) 鍛冶 博之(商学研究科博士課程後期) 天野 了一(社団法人関西経済連合会産業部参事) 川満 直樹(商学部専任講師) 木山 実(関西学院大学商学部准教授) 瀬岡 誠(大阪学院大学経営学部教授)
第63	2008年 11月2日(日) 寒梅館6階大会議室	German Colonialism in Comparative Perspective 比較の視座から問うドイツ植民地主義	Sebastian Conrad (Professor of History, the European University Institute)
第64	2009年 2月28日(土) 神学館3階礼拝堂	《大正デモクラシーと現代》 ・大正期国民新聞の普選論—徳富蘇峰と馬場恒吾を中心に— ・大正デモクラシーと同志社—海老名弾正と「同志社アカデミズム」の形成—	和田 守(大東文化大学法学部教授) 西田 毅(名誉教授)
第65	2009年 7月16日(木) 神学館3階礼拝堂	《同志社のキャンパス・ライフをささえて》 ・同志社精神と協同組合—同志社生協設立50年発祥110年から学ぶ協同組合の歴史 ・生協運動の可能性—1960年代の同志社生協— ・大学生協の『婦人版』のナゾ	井上 史(人文研嘱託研究員(社外)・同志社生協50年史編纂委) 及川 英二郎(東京学芸大学准教授) 井上 英之(大阪音楽大学教授) 丸茂 俊彦(商学部教授)
第66	2009年 10月15日(木) 寧静館5階会議室	《金融危機とブルーデンス政策》	丸茂 俊彦(商学部教授)
第67	2009年 12月19日(土) 神学館3階礼拝堂	《北米日本人移民のトランスナショナリズム》 ・同志社とハワイ日系二世留学生 ・1930年代におけるアメリカ二世留学事業と日本帝国主義	物部 ひろみ(言語文化教育研究センター専任講師) 東 栄一郎(Associate Professor, University of
第68	2010年 1月30日(土) 寧静館5階会議室	シンポジウム《日独近代社会における健康と身体—社会の科学化と大衆化の過程で [基調講演] ・日本の漢方医が見た戦後ドイツの医療と社会—非正統医療の国際交流から健康を ・日本陸軍と社会の近代化—1930年代における壮丁体位低下問題の虚像と実像— ・世紀転換期のドイツ市民社会にみる“健全な”女性づくり—女給の問題化プロセ [パネルディスカッション]	服部 伸(文学部教授) 高岡 裕之(関西学院大学文学部教授) 水戸部 由枝(明治大学政治経済学部専任講師)

回	日時	演題	講師
第69	2010年 5月22日(土) 同志社礼拝堂(チャ)	《Rakugoと落語—異文化理解と認知心理学の視点から—》 ・落語のネタで語る認知心理学 ・落語をRakugoに—英語落語の挑戦— [桂かい枝インタビュー] ・海外における英語落語の公演	佐藤 浩一(群馬大学大学院教育学研究科教授) 落語家 桂 かい枝
第70	2010年 10月29日(金) クラーク記念館2階 クラーク・チャペル	《アメリカン・ボード創立二〇〇年》 ・同志社とアメリカン・ボード—男性宣教師の働き— ・ウーマンズ・ボードと同志社女学校—女性宣教師の働き—	本井 康博(神学部教授) 坂本 清音(同志社女子大学名誉教授)
第71	2010年 11月20日(土) 神学館3階礼拝堂	《今どきの大学生は?—当世書生気質—》 ・学生生活実態調査に見る学生生活 ・現代の大学生と大学教育の支援課題 ・現代学生の社会関心と政治意識—20年間の大学生調査をもとに—	名和 又介(言語文化教育研究センター教授) 溝上 慎一(京都大学高等教育研究開発推進センター准教授) 片桐 新自(関西大学社会学部教授)
第72	2010年 12月11日(土) 神学館3階礼拝堂	《同志社大学とアーモスト大学との交流史(続)》 ・プリンプトン学長とケリー館長との往復書簡を通してみた 同志社・アーモスト ・知的・道徳的チャレンジとしてのアーモスト大学の教育	藤倉 皓一郎(東京大学名誉教授) 北垣 宗治(名誉教授)
第73	2011年 7月2日(土) 寒梅館203番教室	《日本生まれのランドマーク商品たち》 ・【日本の奇跡】と社会の変容 ・自動炊飯器 ・カラオケ ・携帯音楽プレーヤー ・カーナビ ・ランドマーク商品の海外展開 ・ランドマーク商品研究と企業者史	石川 健次郎(商学部教授) 岩見 憲一((公財)新産業創造研究機構技術アドバイザー) 鍛冶 博之(徳島文理大学短期大学部商科講師) 水原 紹(大阪学院大学経営学部准教授) 天野 了一(関西学院大学都市創造研究センター客員研究員) 川満 直樹(商学部専任講師) 瀬岡 誠(大阪学院大学経営学部教授)
第74	2011年 11月16日(水) 至誠館3番教室	《グローバル競争枠組みの変化と日本企業の対応—鉄鋼業・建設業からみる事業シ ・調達構造の変化と事業システム—資源問題と鉄鋼業の今後について— ・転換する競争環境と事業システム	藤井 善英(JFEスチール株式会社 専務執行役員) 小国 恭範(飛島建設株式会社 上席執行役員専務)
第75	2011年 12月2日(金) 臨光館201番教室	《アメリカ日系二世と越境教育》 ・日系二世の日本留学と異人ネットワーク—熊本海外協会の事例を考察する— ・アメリカ日系二世のアメリカ化と越境教育—カリフォルニア州ターミナル島の日	物部 ひろみ(言語文化教育研究センター准教授) 吉田 亮(社会学部教授)
第76	2012年 2月18日(土) 寧静館5階会議室	国際シンポジウム《植民地支配責任を考える—歴史と法のあいだ—》 第1部 東アジアの経験 ・韓日、植民地支配責任を問う 第2部 ヨーロッパとその旧植民地の経験 ・世界史の中の植民地支配責任 第3部 総合討論	金 昌禄(慶北大学校法科大学教授) コメンテーター 金 富子(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授) 中野 敏男(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授) 永原 陽子(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教 コメンテーター 梁 鉉娥(ソウル大学校法学専門大学院副教授) 庵途 由香(立命館大学文学部准教授)
第77	2012年 9月22日(土) 明德館1番教室	《戦後日本における行動する知識人—私たちは何を学ぶことができるか—》 ・鶴見俊輔と思想の科学研究会 ・恒藤恭と平和問題談話会—時代の傍観を拒否した法哲学者— ・湯川英樹と坂田昌一—原子力問題をめぐって—	安田 常雄(神奈川大学法学部特任教授) 広川 禎秀(大阪市立大学名誉教授) 出原 政雄(法学部教授)
第78	2012年 11月23日(金) 11月25日(日) 寒梅館6階大会議室	国際シンポジウム《過去の記憶の場としての近代》 第1部 過去の記憶の場としての遺跡 ・ファシズム期における古代ローマのイメージ ・アクロポリス—近代ギリシアの象徴と記憶— ・古代国家形成期の遺跡と現代日本 第2部 近過去としての近世の記憶 ・17~18世紀フランスにおける考古学と海軍史 ・近世におけるカイロとその記憶 第3部 古代ローマ都市の歴史像 ・ローマ支配期カルタゴ周辺地域におけるポエニ期カルタゴの記憶と文化—カルタ ・古代ローマ都市レプティス・マグナー—ふたつの転換点— ・古代ローマの中核部で何が生じていたのか—帝政期フォロの景観変化—	Paolo Carafa(Professor, University of Rome) 中井 義明(文学部教授) 若林 邦彦(歴史資料館准教授) Pierrick Pourchasse(Associate Professor, University of 堀井 優(文学部准教授) 井福 剛(文学研究科博士課程後期) 青木 真兵(神戸山手大学非常勤講師) Fabio Cavallero(University of Rome)
第79	2013年 1月24日(木) 志高館118番教室	「金融危機と日本経済」	植田 宏文(商学部教授)
第80	2013年 2月23日(土) 明德館1番教室	《カリマンタン/ボルネオにおけるアブラヤシ農園拡大とその影響—生産システ ・アブラヤシ生産システムの変容が意味するもの—西カリマンタン州の事例から— ・商業作物中心の経済は何をもたらしたか —西カリマンタンの地域社会の経験から— ・開発vs. 保護—カリマンタン/ボルネオ中心部におけるアブラヤシ農園問題の再 [コメント]	林田 秀樹(人文研准教授) 加藤 剛(総合地球環境学研究所客員教授・京都大学名誉教 Herman Hidayat(インドネシア科学院社会文化研究センター上 通訳・まとめ 和田 喜彦(経済学部教授) 永田 淳嗣(東京大学大学院総合文化研究科准教授)
第81	2013年 4月6日(土) 神学館3階礼拝堂	《大学はこうしてつくられる—高等教育の社会史》 ・歴史にみる大学バブル ・医科大学設置ことはじめ—京都府と同志社・帝大—	竹内 洋(関西大学東京センター長、関西大学・京都大学名誉 田中 智子(人文研助教)
第82	2014年 6月27日(金) 6月28日(土) 良心館305番教室	《Power in Contemporary Japan》 [Part1.Learning and Thinking about Power] ・Striving for Power and Power's Striving ・Six Year Olds and Abenomics: What Do Children Know about Politics? ・Political Socialization in Universities [Part2.Power over and in the Family] ・Power over Family Policy ・Negotiating Technology Use in Families ・Who Does the Dishes? Fairness and Household Chores [Part3.Power in the Workplace and in Society] ・Power in Hierarchical Social Networks in Japanese/Asian Context: A Survey ・Access to Power through Aisatsu.an Ethnography of a Speech Act at a ・Global Opportunities, Ethnic Resources and Transnational Strategies: [Part4.Political Power] ・Power and Postwar Policymaking: the More Things Change ・Holding on to Power: Politicians and Re-election ・Nonstandard Routes to Power: the Contribution of Politicians' Spouses	Chair and Discussant: Masahiro Yamada Christina Tarnopolsky Gill Steel Katherine Tegtmeyer Pak Chair and Discussant: Maie Thorsten Hiroko Takeda Mito Akiyoshi Mayumi Nakamura Chair and Discussant: Yoshitaka Nishizawa Ken'ichi Ikeda with collaboration of Keisuke Takemoto Gregory Poole Gracia Liu-Farrer Chair and Discussant: Ken'ichi Ikeda Gregory W. Noble Masahiko Asano Dyron K.Dabney
第83	2014年 11月8日(土) クラーク記念館2階 クラーク・チャペル	《市民化する住民、開発と公害を生きる》 ・市民主義再考 ・エネルギー革命と地域開発 ・京都の市電をまもる会、回顧と展望—歴史文化都市京都には路面電車がよく似 ・ディスカッション	藤井 祐介(大谷大学非常勤講師) 小堀 聡(名古屋大学大学院経済学研究科准教授) 広原 盛明(京都府立大学元学長) 司会 : 井上 史(人文研嘱託研究員(社外))

回	日時	演題	講師
第84	2015年 1月11日(日) 良心館305番教室	《戦後日本思想と東アジア—知識人と民衆—》 ・竹内好の「アジア」「中国」そして「日本」 ・丸山眞男の方法と中国思想の省察 ・農村青年・大川竹雄の戦前と戦後	萩原 稔(大東文化大学准教授) 區 建英(新潟国際情報大学教授) 南 相虎(京畿大学校教授)
第85	2015年 1月31日(土) 良心館305番教室	《都市を占拠する—闇市・バラック街から見た都市空間の「戦後」—》 ・都市の伝統的な基層としての闇市 ・都市の自生的集落としてのバラック街 ・コメント ・質疑応答	初田 香成(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教) 本岡 拓哉(人文研助教) 佐賀 朝(大阪市立大学大学院文学研究科教授) 司会: 田中 智子(人文研助教)
第86	2015年 11月21日(土) 志高館110番教室	《歴史と記憶の形成》 ・ペルシア戦争の記憶 ・アウグストゥスとローマ創建の記憶 ・フランスの都市計画と有形文化遺産保存 ・質疑応答	中井 義明(文学部教授) マリア・テレーサ・ダレシオ(ローマ・サピエンツァ大学准教授) 通訳 坂井 聡(文学部嘱託講師) 中山 俊(文学部嘱託講師) 司会: 服部 伸(文学部教授)
第87	2015年 12月15日(土) 良心館305番教室	《沖縄と村から見る戦後の日本》 ・沖縄の基地と女性—金武山訴訟を中心に— ・村の教師と村づくり—1950年代の東井義雄と加藤敏一郎の足跡を中心に— ・質疑応答	桐山 節子(グローバル・スタディーズ研究科博士課程後期課程) 櫻井 重康(人文研嘱託研究員(社外)) 司会: 庄司 俊作(人文研助教)
第88	2016年 1月23日(土) 明徳館1番教室	シンポジウム《インドネシア・リアウ州のアブラヤシと煙害—グローバル化が促す農園企業・小農の行動とその帰結—》 ・インドネシア・リアウ州のアブラヤシ産業の構造変化 ・宇宙からリアウ州の泥炭湿地開発の現場を捉える: 森林伐採と火災の衛星モニタ ・リアウ、泥炭湿地帯の村落社会: 小農の生計活動と土地利用の変容 ・コメント ・コメント・討論	永田 淳嗣(東京大学大学院総合文化研究科准教授) 渡辺 一生(総合地球環境学研究所研究員) 増田 和也(高知大学農学部准教授) 加藤 剛(京都大学名誉教授) 林田 秀樹(人文研准教授)
第89	2016年 10月9日(日) 寒梅館1階ハーディーホール(大ホール)	《香りと音楽》 ・香りと音楽—「音と匂いの融合」(sonolfactif) 芸術の発明—	シャンタル・ジャケ(Chantal JAQUET)(パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ教授) 通訳 岩崎 陽子(京都嵯峨芸術大学短期大学部専任講師)
第90	2017年 11月27日(月) 烏丸キャンパス 志高館112番教室	《ギリシア・ローマ史における歴史学と考古学—歴史像の構築とその方法—》 ・ラクダイモン人の墓—ある戦後の記憶— ・現在のイタリアにおけるギリシャ・ローマ(古典)考古学—古代の遺跡と景観の ・考古学と文献—古代ローマの場合— ・質疑応答	中井 義明(文学部教授) パオロ・カラーファ(ローマ大学サピエンツァ教授) 通訳 坂井 聡(文学部嘱託講師) マリアテレーサ・ダレシオ(ローマ大学サピエンツァ准教授) 通訳 坂井 聡(文学部嘱託講師) 司会: 中井 義明(文学部教授)
第91	2018年 4月21日(土) 良心館305番教室	《ベラスケス絵画とスペイン黄金時代美術の形成—ハブスブルク家、ティツィアーノ、ルーベンスを手掛かりに—》 ・コメント、質疑応答	川村 やよい(オビエド大学美術歴史准教授) 清瀬 みさを(文学部教授)
第92	2019年 1月12日(土) 良心館102番教室	《ASEAN-日本間の利害関係と東アジアの将来—資源・一次産品・領有権の視点から—》 ・ASEANは生き残れるか: 分裂を誘う経済統合、南シナ海、人権問題 ・資源をめぐる日本—東南アジア関係の今昔 ・日本と中国、ASEANの経済関係 ・日中の広域ビジョンと対東南アジア援助 ・コメント、全体討論	寺田 貴(法学部教授) 林田 秀樹(人文研准教授) 巖 善平(グローバルスタディーズ研究科教授) 大岩 隆明(山口大学経済学部教授)
第93	2019年 1月24日(木) 良心館305番教室	《戦後日本の地方を生きる》 ・「山陰の山びこ学校」と加藤敏一郎—コミュニティを変えた教育者の思想と足跡— ・戦後の保守と園部町長 野中広務	櫻井 重康(人文研嘱託研究員(社外)) 庄司 俊作(名誉教授)
第94	2019年 10月8日(火) 同志社礼拝堂(チャペル)	《キリスト教信仰に基づく女性支援の歴史—かいた婦人の村の半世紀—》 ・〈最も小さい者〉として、共に生きる志—かいた婦人の村の思想と実践— ・「共に生きる」ということ—『底点志向者イエス』に倣って— ・「居場所を奪われた女性たち」 —暴力・性暴力の被害を受けて— ・コメント、全体討論	林 葉子(人文研助教) 天羽 道子(かいた婦人の村名誉村長) 横田 千代子(婦人保護施設いずみ寮施設長、全国婦人保護施設等連絡協議会会長) 木原 活信(社会学部教授) レギーネ ディート(グローバル地域文化学部助教)
第95	2019年 11月8日(金) 良心館305番教室	《女性の政治参加》 ・若手女性の政治参画—女性政治リーダートレーニングの試みから ・コメント・討論	申 瑛榮(お茶の水女子大学 准教授・(一社)パリテ・アカデミー共同代表) 武田 宏子(名古屋大学大学院法学研究科教授)
第96	2019年 12月15日(日) 良心館305番教室	《都市養蜂が描く持続可能な社会のデザインとは?》 ・なぜ屋上養蜂は全国に広がったのか? パネルディスカッション ・ミツバチに学ぶ、都市で自然を味わう喜び ・ミツバチが媒介する多様なコミュニティの創発と行動変容 ・蜜蜂とひとの文化との関わり ・ミツバチのくらしと人々の暮らしを考える。都市は持続可能なのか? ・保育園、幼稚園、小学校などに”蜂育”が広がることを期待しています。	田中 淳夫(銀座ミツバチプロジェクト理事長) 古本 強(龍谷大学農学部教授) 浅井 俊子((一社)インパクトハブ京都代表理事) 佐藤 壮広(立教大学非常勤講師) 服部 篤子(政策学部教授) 今里 滋(政策学部教授)